

歯学部附属歯科衛生専門学校
令和5年度自己点検・評価及び学校関係者評価票

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
<p>評価項目①(重点項目) カリキュラム・ポリシーに基づき, 専門課程にふさわしい授業科目を開設し, 教育課程を体系的に編成しているか。</p>	<p>1 現状説明 歯科衛生士国家試験出題基準の改訂(令和4年度)及び歯科衛生学教育コア・カリキュラムの改訂(令和4年度)に伴い, 教学IR委員会にて教育課程を見直し, 今後の計画等を話し合っ、歯科衛生士の知識と技術を確実に修得できるように体系的にまとめたものを令和6年度からの新カリキュラムとして策定した。</p> <p>2 長所・特色 授業科目は全て必修である。歯科衛生士学校養成所指定規則に基づくカリキュラムに従い, 全国歯科衛生士教育協議会で指定される教科書等を使用して講義, 国家試験対策を行っている。</p> <p>3 問題点 令和6年度より, 2年生は旧カリキュラム, 1年生は新カリキュラムとなることから, 令和5年度入学の学生が卒業するまでは学生及び教員の混乱が生じやすい。</p> <p>4 全体のまとめ カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を編成しており, さらに, これからの社会ニーズに対応できる新カリキュラムを策定し, 歯科衛生士としての基本的な資質と能力の養成を目指している。</p>	B	<p>歯科衛生士業務の高度化, 拡大, また, 歯科衛生士国家試験出題基準改訂に伴い, 教育内容の見直し, 学科目の新設, 学科目名, 単位数, 授業時間数の変更等の対応がなされ, 分かりやすい学科目名になり, さらに, 社会情勢に即した新カリキュラムが考えられている。 また, 必修科目が組み込まれた上で, 国家試験対策が無理のない範囲で行われている。 教員の皆様の努力に期待する。</p>	<p>改訂や現状に鑑みて, 迅速かつ丁寧な対応, 対策がよりよくなされている。学科目名の変更は, 旧カリキュラムから新カリキュラムへの移行に伴い, 学生や教員が混乱しないようとても分かりやすくなっている。 教員は皆優秀で, 研究熱心なのでいつものペースで学生の指導, 教育をお願いしたい。</p>	<p>致し方ないが, 学年によって旧カリキュラムと新カリキュラムが混在するため, カリキュラムの移行に伴う混乱を可能な限り生じないよう努めていただきたい。</p>	特になし	B

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
評価項目② 学生の募集活動が適正に行われ, 定期的に点検・評価を実施しているか。	<p>1 現状説明 校長, 教務主任による付属高等学校等や在学生の出身高等学校への学校訪問による説明及び学校案内等の発送, 各高等学校で実施される進学相談会での専任教員による学校紹介等により広報活動に努めている。また, 随時個別の学校見学への対応, ホームページの更新を行い, 定期的な進学相談会やアンケート結果を通して, 募集活動の点検や評価をし, 進学相談会の体験実習の追加や追加資料の作成等を行った。</p> <p>2 長所・特色 入学希望者のニーズに合わせ, 入学者選抜は高校生も社会人も受験しやすい内容となっている。実習施設やキャンパスは新しく, 教育上の必要性に十分対応できるよう整備されており, 募集活動において取得資格や進学又は就職状況等の情報も正確に伝えられている。</p> <p>3 問題点 近年は定員充足率が100%に満たないため入学者数の確保が必須である。</p> <p>4 全体のまとめ 多様な選抜方法を用いることに加え, 進学相談会や高校訪問を通して入学希望者へのアプローチを図っている。募集活動の定期的な点検・評価を行い, 必要な内容の追加等を行っている。また, 令和5年度の第1回, 第2回の進学相談会来場者数は令和4年度を上回っている。</p>	B	<p>日本大学付属の高等学校等は首都圏をはじめ全国各地にあるが, 可能な限り校長, 教務主任による学校訪問での説明を実施されていて, よく努力され, 大変なことと思う。</p> <p>校長, 教務主任, 教員による在学生の出身高等学校への学校訪問による説明, 学校案内等の発送, 各高等学校での進学相談会等にて広報活動に努め, ホームページの更新, キャンパスも新しくなり, 受験しやすい環境が整えられている。</p> <p>高等学校での学校説明会, 進学相談会を行うほか, 学園祭では体験実習等を行い, 学生募集に積極的に努めていることが評価できる。</p> <p>近年, 大学への進学希望者が増えているため, 積極的に専門学校の良いところをアピールしてもらいたい。</p> <p>入学者選抜の回数を増やし, 総合型選抜を取り入れるなど, 学生の確保に努めていることが評価できる。</p>	<p>入学希望者数を増やすために, 学校紹介のパンフレットやホームページに好感が持て, 分かりやすい内容になっている。また, 高等学校への進学相談会を積極的に行い, 入学希望者の確保をするほか, 歯科衛生士という職業を知ってもらおう努力がされている。</p> <p>常にニーズに合わせた工夫がなされ, 令和5年度は進学相談会来場者数が増え, 工夫の成果がみられるが, 更にアピールが必要である。</p>	<p>定員充足率が100%に満たないため, 更に工夫が求められる。</p> <p>大学附属の良い点を生かし, 学校案内に掲載する。</p> <p>総合高等学校の専門性を考え, 積極的に進学相談を行ってはどうか。</p> <p>付属高等学校等以外にも学校推薦型選抜の範囲を広げてはどうか。</p>	<p>歯科医師会にも案内をしてみてもどうか。</p>	B

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
評価項目③ 学生の進路・就職支援は適切 に行われているか。	<p>1 現状説明 専門学校事務室において求人情報を提供し、学生のサポートを実施している。進路相談は学生個々の特性や希望に沿ったアドバイスを担任が中心となり行っている。また、大学卒業資格(学士)取得を希望する学生への支援も実施している。</p> <p>2 長所・特色 3年生では各方面で活躍する歯科衛生士の講義を受ける機会を設けており具体的な進路決定の助けとなっている。学校関係者のみ使用可能なデータベースを作成し、自宅からでも求人情報にアクセスすることができる。就職ガイダンスでも卒業生の講話を実施している。</p> <p>3 問題点 新型コロナウイルス感染症の影響による制限がある中で、積極的な外部との交流が難しい状況があった。</p> <p>4 全体のまとめ 多数の卒業生を輩出してきた本校の特色を生かし、学生の希望に沿った進路指導に努めている。 令和5年度の就職ガイダンスは日本大学歯学部同窓会と連携し、求人のある歯科医院と対面形式で実施予定である。</p>	A	<p>専門学校事務室にて求人情報の提供をしていたり、担任が中心となって、個々に合わせたアドバイスをし、学士取得を希望する学生への支援もしていたりしている。また、各方面で活躍する歯科衛生士の講義を受けられたり、自宅からでも求人情報にアクセスできるようになっていたりしており、配慮されている。 学内には歯科衛生士募集の案内も掲示されており、学校の努力がうかがえる。</p>	<p>国家試験については、願書の書き方から指導があり、学生の問題点を把握し丁寧に対応されている。過去の授業等、教員の講義がとて聴きやすく分かりやすい。 就職支援については、今年度初の試みとして日本大学歯学部同窓会の組織力を利用した就職説明会を対面形式で行った。学生に、より具体的な仕事内容や、現場で働く歯科衛生士の声を聞いてもらうことで双方の意識が高まり、スムーズな就職の実現が可能だと考える。大いに評価でき、今後も続けていただきたい。 更に求人情報の収集に努めていただきたい。</p>	<p>コロナ禍の影響が払拭しきれない状況がある。 歯科医院への実習再開や企業への体験説明会等を行い、実際に働く自分を想像できる環境を作るのはいかがでしょうか。</p>	<p>就職先は歯科医院だけではない。学生の個性等により関連企業、行政機関等様々な所で個性を発揮できる所もあり、そのような指導もされているかと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>	A

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
評価項目④ 学生からの相談体制が整備さ れているか。	<p>1 現状説明 担任制を採り定期的な面談によって 相談の機会を設けている。また, 保健 室, 学生支援室等, 学生を継続して支 援できる体制を整えている。相談機関 の案内は入学時のオリエンテーショ ン, 掲示等により行っている。相談内 容に応じて校長, 教務主任, 教員間で の情報共有を図っている。</p> <p>2 長所・特色 日本大学歯学部, 日本大学本部の学 生支援センター, 日本大学病院との連 携等日本大学の附属校ならではの支援 がある。</p> <p>3 問題点 学生は様々な悩みを抱えており全て のケースに対応できる体制を更に整え る必要がある。</p> <p>4 全体のまとめ 定期的な面談による相談機会の提供 と学生支援部門による継続的なサポー トを行っている。</p>	A	<p>担任による定期的な面談を行い, 校長, 教務主任, 教員が必要に応じて共有し, 場合によっては全員で面談に当たっている。 また, 日本大学歯学部, 日本大学本部の学生支援センター, 日本大学病院との連携等日本大学の附属校ならではの体制を整えているので, サービスは行き届いていると感じる。 学生一人一人へのサポートがされている。</p>	<p>大学附属ならではのしっかりした支援環境が整っている。 校長, 教務主任, 教員全員で学生ファーストの丁寧な対応が継続されている。 また, 学校としては辛い, 興味が他へ向いてしまった学生については, なるべく早いうちに他の道を考えるよう助言することも必要ではないか。</p>	<p>時代の変化等で多岐にわたるケースへの対応が更に必要になる可能性がある。 また, 学生が遠慮せず, より相談しやすい環境があるとよい。</p>	特になし	A